

情報解禁日：2020年3月2日AM9時

master-piece FACTORY **BASE** RENEWAL



メイドインジャパンバッグブランドの master-piece(マスターピース)は、メンズバッグがまだファッションとして確立されていなかった1994年にスタートしました。以後メンズカジュアルバッグをファッションのジャンルのひとつとして考え、時代のニーズと自分たちのアイデンティティを持って数々のシリーズをリリースしてきました。

2008年、master-pieceの自社ファクトリーとして誕生したBASE OSAKA。当時、業界ではブランドが自社ファクトリーを作ることに對して懐疑的な意見もありましたが、現在あらゆる企業・ブランドが継続できるものづくりの重要性を模索し、このmaster-pieceが先駆けた試みが、いま改めて注目されています。

昨年ブランド設立25周年を迎え、さらなるマスターピース(傑作)を追求すべく今年BASE OSAKAはリニューアルしました。旧ファクトリーから規模を拡大し、設備・環境を充実させ、これまで以上に品質と生産性の向上を目指し、「世界に誇るバッグファクトリー」と「次の世代へ日本の鞆づくりの継承」を実現する場として動き出しました。

ものづくりの産業まで見据えた我々の自社工場を是非ご覧いただきたく、こちらのプレスリリースを作成させていただきました。お気軽に下記お問い合わせ先までご連絡くださいませ。

お問い合わせ先

MSPC株式会社 〒541-0051 大阪市中央区備後町3-2-13 2F

TEL: 06-6265-2677 Email: y.fukui@master-piece.co.jp 担当: 福井

MSPC CO.,LTD.

Our Story

様々な「ものづくり」の現場が海外へ移行する中、私たちが求めるモノづくりの環境を これからも未来に残すために 2008 年、日本有数の鞆作りの生産拠点である大阪と兵庫県豊岡市に自社ファクトリー BASE を設立しました。

当時「ものづくり」を支えてきた国内の鞆工場も不況や職人の高齢化、後継者の問題などでやむをえず廃業し、日本の「ものづくり」を支えるかけがえのない技術と精神が徐々に失われつつありました。この先、10 年、20 年後に果たしてこのかけがえのない「ものづくり」をどれだけ残せるだろうか？ master-piece は常にこの問題に向かい続けてきました。

私たちが自社ファクトリー BASE で目指したこと。それは、企画と生産の現場が密な連携を取ることでプロダクトとしてのクオリティやユーザビリティを向上し、メイドインジャパンのバッグブランドとして世界に向けてより良いものを提供し続け、これまで培ってきたものづくりの技術を次の若い世代への継承することです。

master-piece の商品はコラボレーション関連の一部製品を除き、全てのバッグは自社工場を中心に国内生産され、これからの生産現場を担う若い職人たちが、熟練の職人から日々技術を継承し、これまでになかった新しい発想でのものづくりの現場を支えています。

そして、昨年ブランド設立 25 周年を迎え、さらなるマスターピース（傑作）を追求すべく今年 BASE OSAKA はリニューアルしました。300 m²の敷地に規模を拡大し、より多くの職人が働ける環境を設けました。

Craftsman

BASE OSAKA には一般的に職人と言われる縫製師をはじめ、裁断師、パタンナー、生産管理、修理、検品などの多岐に渡る職種の従業員が約 50 人在籍しています。年齢は 20 代前半から 70 代に至る幅広い世代のスタッフが日々 master-piece の生産を通して、ものづくりの技術を継承しています。また、熟練の職人からは技術と知識を、若い世代からは常識に囚われないアイデアを互いに吸収しあう環境があります。上下を隔てないコミュニケーションが、master-piece のアイテムをより魅力的にしています。



What we can provide

バッグの生産だけでなく、ものづくりの楽しさを伝える為、BASE OSAKA の職人がレクチャーしながら革小物を作るワークショップや、master-piece の直営店に出向きその場でオーダーメイドのバッグを縫製するイベントなどにも力を入れています。

また、長年愛用いただいているバッグの修理対応にも専属のスタッフを設けており、ユーザーが大切にしてくれた master-piece のバッグを末長く愛用いただける環境も整っています。

お問い合わせ先

MSPC株式会社 〒541-0051 大阪市中央区備後町3-2-13 2F

TEL : 06-6265-2677 Email : y.fukui@master-piece.co.jp 担当:福井